

どうしたらくらべられるかな？視点5

1. 単元名 長さの たんい（2年生 5月）

2. 改善の動機・意図

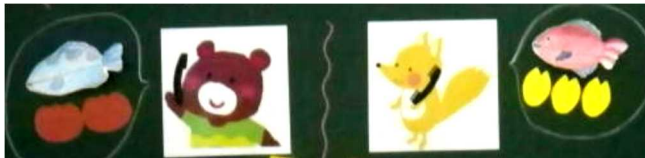
児童はこれまでに、直接比較、間接比較、任意単位を学習してきた。本時では、長さを比較する際の共通な**普遍単位の必要性**を感じさせるためにこぐまときつねが釣った魚の大きさを電話で話し合うという場面を設定する。

児童は、こぐまときつねのこぶしの大きさの違いに気づき、同じ物（ブロック・クリップ等）で長さを比べようとするだろう。しかし、電話で比べているためブロックやクリップが同じ長さかどうか決めることはできずと**任意単位の限界**に気づくだろう。そして、「いつでもどこでも同じ長さの物があればいいな」と**普遍単位の必要性**を感じさせ、cmやmmの学習へつなげたいと考え、本実践を立案した。

3. 授業の構想

T1 こぐまのこぶし2つ分、きつねのこぶし3つ分。

どちらの魚が大きいかな？



- C1 こぶし3つ分だからきつねの魚の方が大きい！
- C2 こぐまときつねのこぶしの大きさがって同じなのかな？
- C3 電話だから重ねて比べることができないね。

<どうしたら くらべられるかな>

- C4 ブロックを使って比べればいいよ。
- C5 他にも使えそうなものがあるよ。

（それぞれ具体物を用いて魚の大きさを調べる活動を行う）

- T2 どちらの魚が大きかったかな？
- C6 ブロックではこぐまの魚の方が大きかったよ。
- C7 クリップでもキャップでもこぐまの魚の方が大きくなったよ。
- C8 本当だ！こぐまの魚の方が大きかったんだね。
- C9 同じ長さのものが何個分で比べればいいね。

T3 でも、違う島に住むこぐまときつねは、同じ長さのブロックをもっているのかな？

児童が持っているブロックと教師用の大ブロックを提示する

- T4 もしかしたら、こぐまのブロックはこんなに大きいかも…
- C10 全然大きさが違う！
- C11 電話だから、一緒かどうか確かめることができないよ。
- C12 なにか決まっているものがあればいいのにな…。

ブロック以外にも、クリップ、ペットボトルのキャップを用意しておく。

